

禁転載複製

平成30年度 ビルクリーニング技能検定

## 2級 学科試験問題

1. 試験時間 60分
2. 問題数 50題 A群（真偽法25題）及びB群（多肢択一法25題）
3. 注意事項
  - (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。（電源は予め切り、バック等にしまって下さい）。
  - (2) 机の上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
  - (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
  - (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
  - (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認して下さい。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
  - (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
  - (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
  - (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
  - (9) 問題は、A群（真偽法25題）及びB群（多肢択一法25題）の50題です。
    - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つをマークします。
    - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢を一つ選び、解答用紙にマークします。
    - ③ 解答用紙の注意事項を必ず確認し、A群、B群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
  - (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。
  - (11) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
  - (12) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。ただし、試験開始後30分間は退出できません。また、退室後は試験が終了するまで再入室ができません。
  - (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
  - (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群（真偽法）

1. セメントテラゾは大理石、花崗岩の碎石を着色セメントで固めたものである。
2. ノロウィルスの消毒には、アルコール系の消毒剤を使う。
3. モルタルはセメントと砂を容積比 1 対 3 の割合で水練りしたものである。
4. 便器に付いた黄ばみ、尿石、洗面台の石鹸カス、水アカなどの洗浄には酸性洗剤が使用される。
5. 大理石は耐久性もあるので屋外における外装材として多く用いられている。
6. 事務所衛生基準規則で定められている室内の作業面の明るさは、精密な作業では 150 ルクス以下である。
7. ビルクリーニングでの廃液排出は下水道法および地方自治体条例により基準が定められている。
8. フラットモップは乾式タイプとして使われるモップである。
9. ほこり以外の汚れ物質の大部分は、親水性物質である。
10. 水拭きとは、多量の水を布やモップに含ませて建材の汚れを拭き取ることである。
11. 希釈倍率は次の式で求めることができる。 
$$\text{希釈倍率} = \frac{\text{洗剤原液の量}}{\text{水の量}}$$
12. スプレーバフは、スプレー液をかけながら床維持剤を削り取る作業である。
13. バファイニングパッドクリーニングは、カーペットパイルの内部の汚れを拭き取る洗浄方法である。
14. 小ぼうきは、小型で家具やソファのほこりを払うものである。
15. トラフィック・エリアとは、ロビーや通路など、歩行量・歩行頻度の多い場所のことをいう。
16. ごみ質量を判断する「単位容積質量値」は、 $\text{kg/m}^3$  又は  $\text{kg/l}$  を単位として使う。
17. 事務所から発生するごみは、事業系産業廃棄物である。
18. 労働災害における障害程度の事故の割合は、ハインリッヒの法則によると 1 : 29 : 300 である。

19. ビル内で行われている中間処理は、収集から搬出、処分に至る途中で行われるものである。
20. 標準作業時間は主体作業時間(正味時間)と余裕時間で構成される。
21. 剥離廃液処理の禁止 4 原則に、不法投棄は含まれない。
22. 労働災害の発生原因は、大きく人的原因と物的原因の二つに分けられる。
23. 針刺し事故は、医療施設のみで発生する特殊な事例である。
24. 建築物構造形式を表す SRC 造とは、鉄筋コンクリート造のことである。
25. 延べ面積が 2,000 m<sup>2</sup>以上の建築物は、環境衛生が適正に維持管理されるように監督させるため、建築物環境衛生管理技術者を選任させることが義務付けられている。

■ B群（多肢択一法）

1. 床維持剤の乾燥後に耐久性を最も低下させる組み合わせはどれか。

- イ お湯・アルコール
- ロ 氷・水性マーカー
- ハ 高湿度・高温
- ニ 低湿度・低温

2. ビルクリーニングの五原則の各項目で、最も不適切なものはどれか。

- イ 建材の知識
- ロ 汚れの知識
- ハ 資器材の知識
- ニ 洗剤の知識

3. ビルクリーニングで除去の対象外とされるほこりは、どれか。

- イ 床に沈積している粒子
- ロ 什器類に堆積している粒子
- ハ 窓ガラスに付着している粒子
- ニ 室内に浮遊する粒子

4. 硬性床材の分類に含まれないものは、次のうちどれか。

- イ テラゾ
- ロ セラミックタイル
- ハ モルタル
- ニ リノリウム

5. 窓ガラスの説明として、最も不適切なものはどれか。

- イ 普通板ガラス→表面が平滑に仕上げてあり、光の屈折が少ないもの
- ロ すり板ガラス→砂ずりによってつや消しにした不透明ガラス
- ハ 型板ガラス→片面または両面に型押し模様をつけたもの
- ニ 網入りガラス→金網や鉄線を入れてあり、丈夫にしたもの

6. 建築物で発生するカビの説明で、最も不適切なものはどれか。

- イ 清掃不良で残った汚れが栄養源になる
- ロ 環境に悪影響があるので薬品を使用しない
- ハ 湿度管理が大切である
- ニ カビは発色するものがある

7. カーペット用洗剤の特性として、最も不適切なものはどれか。
- イ 高起泡性・泡の持続性
  - ロ 高い浸透性
  - ハ ベとつきのない粉末化
  - ニ 無臭に近い残臭
8. 洗剤と環境問題について、最も適切なのはどれか。
- イ 使用洗剤の安全データシートは必要ない
  - ロ 排水水系の富栄養化の原因となり得る
  - ハ 廃液及び排出において責任は問われない
  - ニ 効率化のために強アルカリの洗剤を多用する
9. 自動床洗浄機の工程に含まれないものは、次のうちどれか。
- イ 床に洗浄液を塗布する
  - ロ ブラシで床面を洗浄する
  - ハ 汚水を集めて回収する
  - ニ ブロアで床面を乾燥する
10. ビル内での一時貯留容器に必要な事項で、最も不適切なものはどれか。
- イ 発生するごみに対して、適当な大きさ、機能的な形状のものを必要数配置する
  - ロ 材質が堅くて強く、洗浄が容易である
  - ハ 玄関・ロビーに配置する場合、美観、意匠性を考えない
  - ニ 厨芥入れは臭いが漏れないよう、蓋付きである
11. ポリッシャーにさわると感電する原因として、最も不適切なものはどれか。
- イ スイッチの絶縁不良
  - ロ プラグの断線
  - ハ コードの断線接触
  - ニ モーター内部に入水
12. カーペット製造方法の分類の中で、機械織りのカーペットはどれか。
- イ タフテッドカーペット
  - ロ タイルカーペット
  - ハ ウイルトンカーペット
  - ニ ニードルパンチカーペット
13. 真空掃除機の取り扱いについての注意で、最も不適切なものはどれか。
- イ 針やガラス片などはあらかじめ取り除いて作業する
  - ロ 布フィルターは頻繁に行い、ときには洗濯する
  - ハ 隙間用のノズルで長時間作業を続けても良い
  - ニ 作業終了後は必ず、次回の作業に向けた準備をして保管すること

14. カーペットのパイル形状による分類の中で、最も不適切なものはどれか。
- イ ニードル
  - ロ ループ
  - ハ フラット
  - ニ カット
15. ほうきと掃き方の組み合わせの中で、最も不適切なものはどれか。
- イ 自在ぼうき ー 押さえ掃き
  - ロ 座敷ぼうき ー はじき掃き
  - ハ シダぼうき ー さらえ掃き
  - ニ 竹ぼうき ー 押し掃き
16. トイレ清掃について、最も不適切なものはどれか。
- イ タオルや手袋は、部位ごとに色分けして使う
  - ロ 作業中はできるだけ使用禁止の処置をしない
  - ハ メッキ部分は、水拭きをしたらそのまま乾燥させる
  - ニ 落書きは、できるだけ早く除去する
17. ビル内で行われる主なごみの中間処理で、最も不適切なものはどれか。
- イ 分別収集
  - ロ 破砕処理
  - ハ 燃焼処理
  - ニ 圧縮処理
18. 共同で運搬する場合に、最も不適切なものはどれか。
- イ 体力や身長があまり変わらない者同士でペアをつくること
  - ロ リーダーの指示に従うこと
  - ハ 荷くずれ防止ロープを掛けても積み重ねての運搬はしないこと
  - ニ 呼吸を合わせ、片方が先に物を降ろさないこと
19. 日常清掃として、最も不適切なものはどれか。
- イ 一日1回または数回行う出入りロマットの除塵
  - ロ 壁面などの低所部分の除塵
  - ハ 便所洗面所などの清掃と消耗品補充
  - ニ カーペットの洗淨
20. 有機溶剤の取り扱いで、最も不適切なものはどれか。
- イ 保護具の着用、換気に注意する
  - ロ 引火性の高いものが多いので取扱いは火気厳禁である
  - ハ プラスチックやレジン溶解するので容器としては使えない
  - ニ 水が使えない建材には使用してはいけない

21. ごみの中間処理を行う目的で、最も不適切なものはどれか。
- イ ごみの減量化
  - ロ ごみの集中化
  - ハ ごみの安定化
  - ニ ごみ処分の効率化
22. 人力による単独運搬に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 自分の体力を超えた物を運ばない
  - ロ 手かぎ・てこ・歩み板などの補助具を正しく使用する
  - ハ 物を持ち上げるときは、背骨を曲げて行う
  - ニ 物を降ろすときは、静かに降ろし、決して投げつけない
23. 建築物の場所ごとの汚染レベルの組み合わせで、最も不適切なものはどれか。
- イ 極重汚染エリア — 玄関・ロビー
  - ロ 重汚染エリア — 廊下・下層階の階段
  - ハ 中汚染エリア — 事務所・会議室
  - ニ 軽汚染エリア — エレベーター・トイレ
24. 建築物衛生法（略称）の特定建築物に関して、最も不適切なものはどれか。
- イ 建築物の用途と延べ面積によって定められている
  - ロ 事務所は、延べ面積 3,000 m<sup>2</sup>以上が対象である
  - ハ 百貨店は、延べ面積 2,000 m<sup>2</sup>以上が対象である
  - ニ 学校教育法に規定する小学校は、延べ面積 8,000 m<sup>2</sup>以上が対象である
25. 給水設備の給水方法について、最も不適切なものはどれか。
- イ 高置水槽方式
  - ロ 増圧直結方式
  - ハ 圧力水槽方式
  - ニ 減圧直結方式

